

### リモコン施工時の注意事項

リモコン配線工事で、特に注意の必要な内容について説明します。なお、詳細は、製品付属の工事説明書に従ってください。

#### 1. リモコンコードの種類

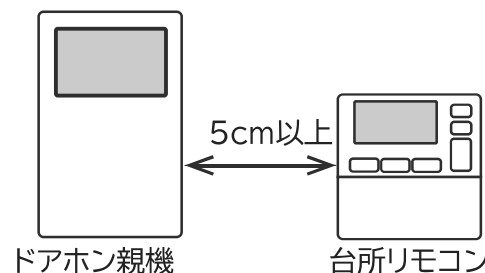
##### 【日立純正別売品一覧】

部品名	仕様	型式	必要数	備考
リモコンコード	2芯 10m	BERCT-10M2	台所リモコン、ふろリモコン、サブリモコンそれぞれにいずれかを各1本	シールド付ケーブルです。両端に接続用端子が取り付けられています。
	2芯 15m	BERCT-15M2		
	2芯 25m	BERCT-25M2		

- リモコンコードは、純正別売部品または、より線2芯0.3mm<sup>2</sup>ケーブルをご使用ください。
- リモコンコードは、途中で継ぎ足ししないでください。
- 既設のリモコンコードを利用する場合も、より線2芯0.3mm<sup>2</sup>ケーブルであることを確認してください。
- 既設のリモコンコードを使用する場合は、特に圧着加工部の断線にご注意ください。
- 電磁波が強い地域(放送局や電波塔などが近くある)では、リモコンのインターホン通話時に雑音やラジオの音声がスピーカより聞こえる場合があります。この場合は、必ずシールド付ケーブルをご使用してください。シールド付ケーブルは、純正別売部品か、現地調達される場合は長岡特殊電線製シールド付より線2芯0.3mm<sup>2</sup>ケーブル(12本/0.18mm)と同等品をご使用ください。
- シールド付ケーブルを使用する場合、シールド線は、電気箱内のアース端子に配線してください。なお、インターホン通話時に雑音やラジオの音声がスピーカより聞こえる場合は、シールド線をアース端子より外してください。また、リモコン配線が渡り配線の場合は、シールド線同士を接続してください。

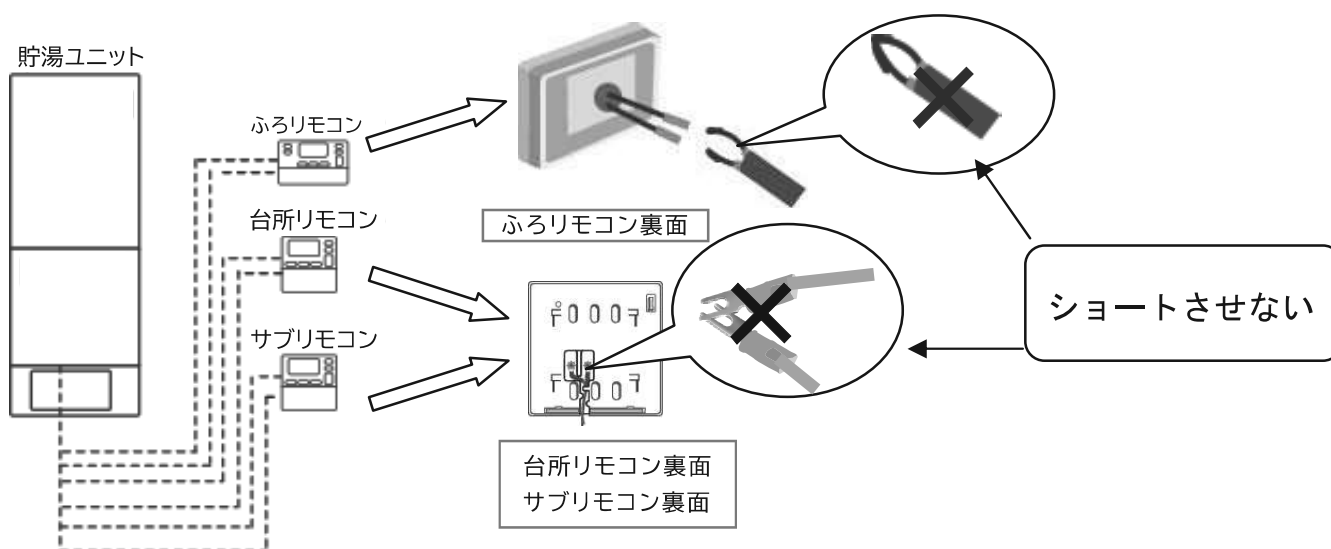
#### 2. リモコンの設置場所

- リモコンは凹凸のあるところには取り付けないでください。
- 台所リモコン、ふろリモコンにはインターホン機能があります。
  - ・シャワーやテレビの近くには取り付けないでください。⇒周囲の音が大きい場所では通話が途切れる場合があります。
  - ・リモコンは他の電子機器と十分離して設置してください。⇒インターホン使用時に雑音が発生することがあります。特に無線タイプのドアホン親機からは、上下左右5cm以上離して設置してください。ドアホンに離隔距離の規定がある場合があります。必ずドアホンの工事説明書をご確認のうえ、いずれか広いほうに従ってください。
- リモコンコードは電源ケーブル、電源のアース線および他機種のリモコンケーブルから離して配線してください。ノイズによる誤作動やリモコンのスピーカから雑音が発生する原因になります。



#### 3. リモコンコードのショート厳禁

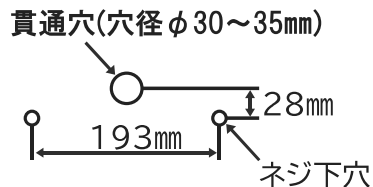
- リモコン配線工事は、必ず貯湯ユニット本体の通電を切ってから行ってください。通電したまま工事を行ってリモコンコードをショートさせると貯湯ユニット本体の基板が破損します。



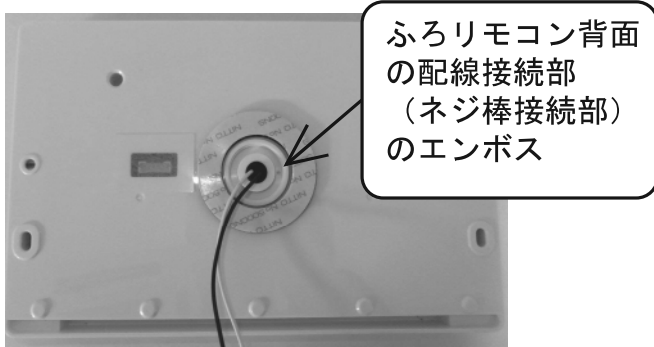
# リモコン施工時の注意事項（つづき）

## 4. ふろリモコンの施工工事の注意

- リモコン浴室の壁面には、工事説明書に従い、 $\phi 30\sim 35\text{mm}$ の穴をあけてください。  
リモコン取り付け用木ネジ（ $\phi 3.5\times 32$ ）の下穴をあけてください。



- 施工が不適切の場合、ふろリモコン背面の配線接続部（ネジ棒接続部）のエンボス部が浴室の壁面と干渉してリモコン3連ボタンが押された状態になり、他のボタン操作ができなくなる場合があります。  
操作できなくなった場合は、ふろリモコンの取り付けネジを緩めて、エンボス部が浴室の壁面と干渉しないように貫通穴内に収めてください。



ふろリモコン背面部



ふろリモコン正面部  
(BER-T1FH1の表示例)

<工事説明書記載ページ>

## 8. リモコン工事(続き)

### ■ふろリモコン工事

#### 取り付け場所の選定

**取り付け高さについて**  
ふろリモコンは浴室内の操作できる位置へ必ず取り付けてください。  
浴そうから20cmくらい上の位置が適当です。  
**ご注意**  
入浴の際、お湯がかつたりすることのない位置に取り付けてください。

**浴室外貫通配線の場合**  
壁貫通パイプ (BEKKT-R:別売品) が必要です。  
ネジ棒先端部の防水カバー (浴室外) は、雨水・飛水のかからない乾燥した場所で、機器の排熱を受けない場所を選んでください。

#### 化粧キャップの取り外し

- 化粧キャップの確認**  
ふろリモコンの扉を開くと、リモコン固定用ネジ部に化粧キャップが取り付けられています。(左右各1ヶ所)
- 取り外し**  
1 上面を押してケース溝から上側のツメをはずす。  
2 上面を押しながら外へずらす。  
3 リブに指のツメを引っ掛ける

#### ユニットバスへの取り付け工事(隠蔽配線)

- 取り付け位置**  
ユニットバス壁パネルに取り付けてください。
- 壁面の加工**  
1 貫通穴をあける(穴径 $\phi 30\sim 35\text{mm}$ )  
2 リモコン取り付け用木ネジ( $\phi 3.5\times 32$ )の下穴をあける。
- 補強板の取り付け**  
1 壁パネル裏側に補強用板(現地準備品)を取り付けます。補強用板には、貫通穴(穴径 $\phi 30\sim 35\text{mm}$ )とリモコン取り付け用下穴をあけ、接着剤などで壁面裏につけます。
- コードの接続**  
1 リモコンコードを適切な長さで切断(端子部分を切断)する。  
2 被膜を先端から約7mmむく。  
3 ふろリモコンから出ているリード線と接続し、端子と圧着する。  
別売品のリモコンコードを使用する場合、シールド接地線は使用しません。コードを根元からニッパーなどで切断し、切断部はビニールテープで絶縁してください。  
リモコンコードは、結露水などの水滴がリモコン内に入らないよう、必ず下方にたるみを設けてください。
- リモコンの固定**  
1 リモコン背面の接着シートのセパレート紙をはがし、浴室壁面に接着します。  
2 ふろリモコンの扉を開き、リモコンセットに付属のネジ( $\phi 3.5\times 32$ )2本で固定します。  
3 ふろリモコンと浴室壁面の隙間を全周コーキングやパテでふさぎます。  
**ご注意**  
● 木ネジの締め付けすぎに注意してください。締めすぎるとリモコンの破損や、ボタン操作の不具合の原因になります。  
● ふろリモコンと浴室壁面には水が浸入しないようしっかりと全周コーキングやパテでふさいでください。

## 5. リモコン施工工事のご注意

- リモコンを施工するときに発生した鉄粉等が、リモコンのスピーカー一部に付着しないようにしてください。  
付着するとスピーカーから音が出なくなったり、錆が発生することがあります。

#### 浴室外貫通配線の工事

**工事にあたって**  
壁貫通パイプ (BEKKT-R:別売品) が必要です。壁貫通パイプは以下のものが同梱されています。  
【防水カバー、ねじ棒(大)、ねじ棒(小)、コード押さえ、木ネジ( $\phi 3.5\times 32$  2本)】

**室内の作業**

- 壁面の加工**  
1 貫通穴をあける。  
2 リモコン取り付け用木ネジ( $\phi 3.5\times 32$ )の下穴をあける。
- ネジ棒の取り付け**  
1 リード線をネジ棒大に通し、ネジ棒大をリモコンネジ部に差し込む。
- リモコンの取り付け**  
1 リモコン背面の接着シートのセパレート紙をはがし、浴室壁面に接着します。  
2 ふろリモコンと浴室壁面の隙間を全周コーキングやパテでふさぎます。
- リモコンの固定**  
1 ふろリモコンの扉を開き、リモコンセットに付属の木ネジ( $\phi 3.5\times 32$ )2本で固定します。

**浴室外の作業**

- 防水カバーの取り付け**  
1 壁貫通穴の隙間をコーキングやパテでふさぐ。  
2 リモコンコードを防水カバー、ネジ棒小に通しネジ棒小をネジ棒大にねじ込む(時計回り)  
3 防水カバーを浴室外壁に壁貫通パイプ(別売品)に付属の木ネジ( $\phi 3.5\times 32$ )2本で固定する。  
**ご注意**  
ネジ棒小の締め付けすぎに注意してください。締めすぎるとネジ棒小が破損する場合があります。
- コードの接続**  
1 リモコンコードを適切な長さで切断(端子部分を切断)する。  
2 被膜を先端から約7mmむく。  
3 ふろリモコンから出ているリード線と接続し、端子と圧着する。  
4 接続端子、リモコンコードをネジ棒小の中に入れる。  
5 ネジ棒小の穴をコーキングやパテでふさぐ。  
6 防水カバーのフタをする。  
**ご注意**  
リモコンコードは、結露水などの水滴がリモコン内に浸入しないよう、必ず下方にたるみを設けてください。

#### 化粧キャップの取り付けと保護フィルムのはがし

- 化粧キャップの下側のツメをリモコンの穴に差し込みます。
- 上面を押しながら上側のツメをはめ込みます。
- ボタン部の保護フィルムをはがします。

**ご注意** 化粧キャップの取り外し、取り付け時はドライバーなどの工具は使用しないでください。ケースに傷がつかます。また、力を加えすぎると、破損することがあります。

リモコン工事(続き)